

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



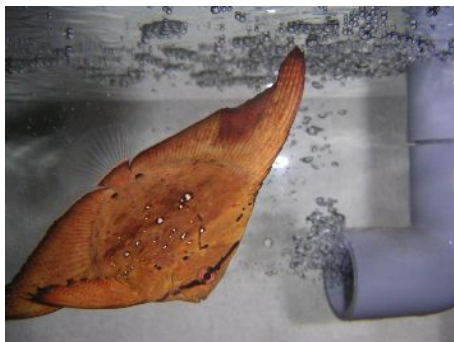
夏休み・いきものシリーズその3

第23号

死滅回遊の魚

「黒潮」は、暖流と称されるとおり、周囲より海水温が高い大洋上の巨大な流れです。夏場になると、分流が相模湾沿岸部へと近づいてきます。その分流に乗り、遙か南の海域から様々な生物がやって来る（回遊）のです。南方の生物は、「黒潮」の流れに乗りながら、北方へ自らの分布を拡げようとします。しかし、冬になると、低水温のため体温維持が不可能になり、彼らは死滅してしまうのです。自然が放つ、この厳しい現実を「死滅回遊」という言葉で表現しますが、この言葉の持つイメージが寂しいので、「季節到来」という言葉も使われるようです。

今回の通信では、実際「黒潮に乗ってやって来る生物について、魚類を例に取り上げて紹介します。以下に掲載した写真は、私が実際に関東地方沿岸部で見かけて撮影した魚たちです。熱帯性海水魚とも称される彼らです。どうですか？なかなか綺麗な仲間でしょう。「海の教室」でも遭えると良いですね！



ツバメウオ



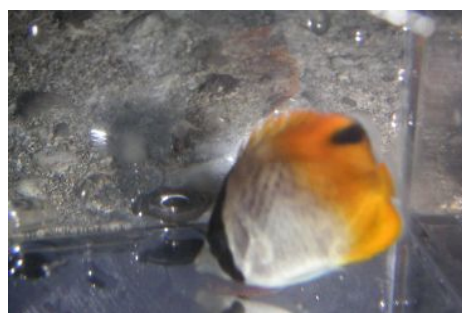
ソラスズメダイ



チョウチョウウオ



オヤビチャ



トゲチョウチョウウオ

海で魚を観察するコツ

海で上手に魚を観察するためにはコツがあります。魚は意外に警戒心が高く、動きも俊敏で、隠れるのが得意です。以下のことに注意すれば観察しやすくなります。「海の教室」で試してみてください。

- ・できるだけ足音をさせないで近づくなど、振動に注意しましょう。
- ・水面に自分の影を映さないように、観察姿勢を工夫しましょう。
- ・隠れた魚が姿を現すまで、粘り強く待つようにしましょう。

◎ざぶざぶ海へ入ってしまうと、魚が驚いて、観察できなくなりますよ!!